



『でんきの安全と安心をおとどけする』 (有)原田電工社

# Hara-den NEWS

No.74

岡崎市保母町胎蔵寺というお寺で「100万人のキャンドルナイト」というイベントに参加しました。



キャンドルナイトは単なる環境イベントではなく、忙しなく過ぎる日常から一歩引いて、キャンドルのあかりの中で「時間」を見つめ直してみる。

自分の事、大切な人の事、日本の事、世界の事、原発の事、子供たちの事、未来の事。キャンドルナイトは考え方を強制するものではなく、夏の終わりにキャンドルのあたたかいあかりの中で、自由にそれぞれが有意義な「時間」を過ごせる事を願うものがキャンドルナイトです。

主催者やスタッフ、関係者のほとんどが20～30代の若い世代の方々に運営されているようです。キャンドルナイト、の名の通りに会場にはろうそくの揺らめく明りが一杯でした。



保母町と言う田舎に(と言っても同じ学区内ですが)こんなに人が集まるんですね。

露天のお店もたくさん出てとても賑やかでした。屋内展示も和のテイスト一杯でこころが豊かになる気がしました。今、岡崎で人気のオカザえもんが登場すると大盛り上がりでした。が一方でチベットの方も参加していて現地の現状を訴えていらっしやいました。オカザえもんの時の波がすーっと引いて、チベットの方の時はほんの数人しか聞いていません。大変残念な思いがしました。遠い異国の話だからでしょうか？

東日本大震災から早くも2年半を迎えようとしていますが、今の被災地の現状を知らずに日本の未来は語れません。東日本大震災の被災地の現状は何十年先のこの地方の現状になるかもしれないのです。それを考えると異国の話だけけど、今の現状を知っているだけでも大切な事だと感じます。世界の未来が掛かってるかもしれないです。大げさかもしれませんが、これが私の有意義なキャンドルナイトという「時間」になったと思います。

